

島根県 行政視察の「報告

平成28年7月12日より14日まで会派一新の会は島根県出雲市・浜田市を視察しました。出雲市では「シティーセールス」について、この事業は出雲大社の平成の大遷宮を機に出雲の注目度が高まり、多くの観光客が訪れたが遷宮終了後も賑わいを継続の定着、発展させたいとの施策でした。又、浜田市においては「ひとり親移住支援策」についてですが、浜田市は60年前は9万2千人の人口があったが昨年は5万6千人となり、3万3千人の人口減少となったもので、浜田市の施策ポイントは介護事業の従事者確保と人口減少の歯止めとしての施策でした。しかし、この「ひとり親移住支援事業費」として1家族に総額400万円という税金による支援金が適正であるかは疑問があります。



浜田市の視察写真



出雲市の視察写真

独自に市民会館大小ホールの耐震施工工事の研究調査をする。

木更津市民会館大小ホールの今後、市の検討方針に疑問を感じ、独自に耐震施工工事方法の調査研究を東京のJ.R水道橋駅近くの構造品質保証研究所に単独で勉強してきました。この研究所の耐震施工はS R F工法(包帯補強)でした。包帯で耐震施工ができるとは思っていませんでした。この包帯補強工法は今までの発想とは違って、頑丈に耐震補修をしても、補修箇所外にひび割れや使用不能な箇所が発生して建物の利用が出来なくなるとの事でした。包帯補強は大地震に対して材料や基本的な構造を変えに、計算法や想定の変更に耐えようとする方法です。包帯補強工法は「耐震工事が低額予算でできる」「工事期間が短縮できる」「大掛かりな資材搬入がない」などのメリットがあります。市民会館大小ホールが取り壊しせずに、この包帯補強工法により市民に利用できるようになれば良いのではないのでしょうか。この包帯補強工法は市役所の担当部に研究検討されるよう要望いたしました。

きよかわ町内会の草刈りは班長・協力員・商店会等が60名余りの参加で実施されました。又、清見台東2丁目の草刈りも協力させて頂いております。有言実行が國吉俊夫のモットーです。東清川地区の要望も会長・区長の指導のもと市役所に要望しています。第三中学校前の国境が危険なもので、区長・地域と共に歩道拡張を千葉県に要望し、今年5月に測量が実施されました。



木更津市商店会連合会の会長となる

平成27年5月より木更津市内18商店会の会長となりました。商店会はその様な商業活動したら良いのか、どうしたら売上げがアップするのか戸惑っているのが現状です。郊外の大型商業施設が営業して、昔ながらの商売をしている店はギリ食になるのみです。各個店は独自の研究をして個性を出した商業活動しなければなりません。連合会はその様な活動に応援して行きたいと思えます。

恋人の聖地・中の島大橋実行委員会委員長として頑張る

恋人の聖地実行委員会ではバレンタインイベントの一つとして、今年も木更津市より「冬火花」を委託されました。本年12月17日より毎週土曜日夜6時30分より行います。合計7回の打ち上げ。2月11日はイオンモール木更津において、「バレンタインライブ」「人前結婚式」等を行い、夜は内港公園において音楽とコラボの冬火花を打ち上げます。今年も委員長としてイベントが盛大に終わるよう頑張ります。